進学塾アペックス

アペックス便り9月号

令和８年　９月吉日

長かった夏も終わり、少しずつ季節の移ろいを感じる頃になりました。どんな成果も一日で生まれるものではありません。目に見える変化の裏には積み重ねられた時間があります。秋は、そのことを改めて考える季節のように思います。

今月の予定

○8/29日　全国テスト
※受験生のみ対象

●休講日…9/21, 22, 23日
※年間調整日

おしらせ

塾長の著書が刊行されました!!　32年に渡る指導から提唱続ける塾長の渾身の(教育論)が出版されました。購読をご希望される方は、お気軽にお声掛け下さい。

※今年も夏合宿でがんばりました!!

講師と仲間と寝食を共にした3日間。きつかったけど、やり切った感動は格別です。この調子で、二学期も頑張るぞ！！

●少しずつ差がつく現実

塾長の呟きブログ

九月を迎えました。長い夏休みが終わり、再び日常の学習生活が始まります。夏期講習や夏季合宿を通して、多くの生徒たちが普段以上に学習に向き合いました。その経験は、すぐに結果として現れる場合もあれば、まだ目に見えない形で蓄えられている場合もあります。しかし、ひとつ言えることがあります。それは、差はある日突然つくものではないということです。私たちは時々、「急に伸びた」という言葉を使います。けれど、本当に急に伸びたのでしょうか。おそらく違います。見えないところで積み重ねていた努力が、ある日結果として表れただけなのです。勉強に限らず、スポーツでも、芸術でも、仕事でも、大きな成長は少しずつ積み上げられています。ただ、その変化は毎日見ている本人には分かりにくい。だからこそ、「変わっていない」と感じてしまうことがあります。しかし実際には、昨日より少し理解できることが増えている。以前より少し長く集中できるようになっている。苦手だった問題にも挑戦できるようになっている。そうした小さな変化の積み重ねが、やがて大きな差になっていきます。一方で、何もしなかったからといって、すぐに大きな差が開くわけでもありません。だからこそ怖いのです。

今日さぼった一日。後回しにした一週間。なんとなく過ごした一か月。それらもまた、少しずつ積み重なっていきます。良い習慣も悪い習慣も、最初はほとんど差が見えません。けれど時間が経つにつれて、その差は確実に広がっていきます。受験生にとってはこれからが本当の勝負です。しかし、焦る必要はありません。今から特別なことを始めるのではなく、これまで積み重ねてきたことを続ける。その姿勢が何より大切です。

受験学年以外の生徒たちにとっても同じです。勉強が得意な人と苦手な人の差は才能だけで決まるものではありません。続ける力。やり直す力。分からないことから逃げない力。そうしたものが、少しずつ差を生み出していきます。保護者の皆さまも、成績や結果だけに目が向きがちな時期かもしれません。もちろん結果は大切です。しかし、本当に見ていただきたいのは、結果の背景にある日々の積み重ねです。以前より机に向かう時間が増えた。自分から質問するようになった。苦手な教科から逃げなくなった。そうした変化こそが将来の成長を支える土台になります。差は突然つくものではありません。だからこそ、今日の努力にも意味があります。目立たない一日。何気ない一時間。その積み重ねが、未来の自分をつくっていきます。焦らず、怠らず。今日できることを続けていきましょう。